



月刊 PLACIA 創刊号

財団法人名古屋都市産業振興公社
プラズマ技術産業応用センター

※PLACIA…中小企業等へのプラズマ技術の普及を通して、地域の産業振興に貢献するという目的で設立されたセンター

月刊 PLACIA : 今月の Topics

刊行あいさつー「月刊 PLACIA」発刊によせてー

1. PLACIA 活動報告ー第 14 回プラズマが拓くものづくり研究会開催ー
2. 企業対応状況ー技術相談実績ー
3. 今後の予定ー第 2 回 PLACIA&PLAM 国際シンポジウム開催ー
4. 事務局より

刊行あいさつ

「月刊 PLACIA」 発刊によせて

梅雨空が続きますが、毎日元氣にご活躍のことと拝察します。時の経つのは早いもので、皆様方の温かいご支援をいただいて、PLACIA（プラシア）の業務をスタートさせてから 1 年が経過しました。この間、数多くの方々がここ志段味のなごやサイエンスパークにあるプラシアをご利用されました。皆様方もよくご承知のことと思いますが、プラシアは先進プラズマ技術をツールとして、中小製造業各位の技術の高度化、新製品・技術の開発をご支援させていただくためにあります。皆様方とお話しする中で、日々の生産・加工に関する技術課題解決だけでなく、技術革新により次の展開を図りたいという熱い思いを強く感じております。プラシアにはそうした思いにプラズマ技術を通して応えたい情熱があります。プラシアは動いています。そんな姿を、そんな時間を皆様に見ていただき、皆様と共有したい。それがプラシア職員の思いです。

「月刊 PLACIA」は利用者各位とプラシア双方の思いをベースにしています。したがって、単なるマンスリー情報連絡の場ではありません。プラシアが発信する情報はきっとページを開いた人の心の琴線に触れることでしょう。何か感じたら、その気持ちをプラシアに伝えてください。技術ばかりでは肩がこるかもしれません。プラシアの周囲は名古屋市内とはいえ、自然が豊かです。四季折々の変化を、その自然に溶け込んだ生き物の姿を含めてお届けします。どうぞ「月刊 PLACIA」のファンになってください。

プラズマ技術産業応用センター（PLACIA）長
久米道之

1. PLACIA 活動報告－第 14 回プラズマが拓くものづくり研究会開催－

6 月 19 日（金）にサイエンス交流プラザにおいて第 14 回プラズマが拓くものづくり研究会（PLAM）プラズマ技術講演会が開催されました。今回の講演会には 121 名の方々にご参加をいただき、盛況のうちに終了することができました。

講演会では「窒化により表面を硬くすること」をテーマに、プラズマを使った窒化処理を始めとした表面改質について紹介していただきました。

講師は豊田工業大学の奥宮正洋研究教授と原民夫教授にお越しいただきました。奥宮研究教授には、「鋼とアルミニウムの表面硬化へのプラズマの応用」というタイトルで、プラズマ浸炭やプラズマによるアルミニウム合金の高機能化および膜の創製について最先端の研究内容を紹介していただきました。原民夫教授には、「プラズマを用いた表面改質の研究」というタイトルで、電子ビーム励起プラズマによる窒化処理や大気圧プラズマジェットの高機能化および最先端の処理技術について紹介していただきました。大変興味深い内容であり、講演後には多くの質問と活発な議論が行われました。



2. 企業対応状況－技術相談実績－

今年度 4 月から 5 月末までに PLACIA において技術相談が 29 件、機器利用が 13 件（共に延べ数）行われました。技術相談に関しては表面処理に関するものが最も多く 12 件、以下計測・制御、コーティングとなっております（図 1 参照）。機器利用については、大気圧プラズマ装置 7 件、ナノカーボン膜製造装置が 6 件でした（図 2 参照）。

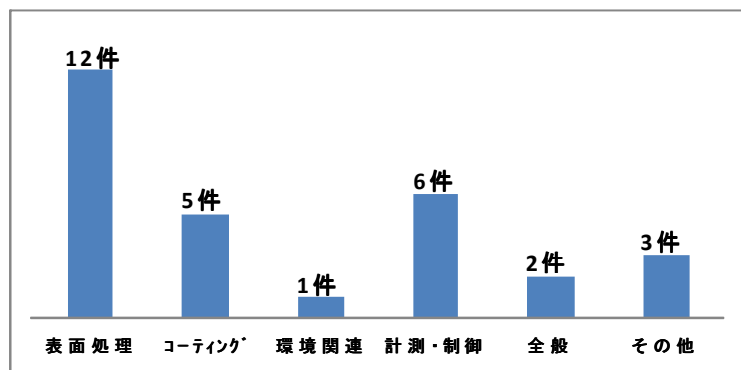


図 1：技術相談分野内訳

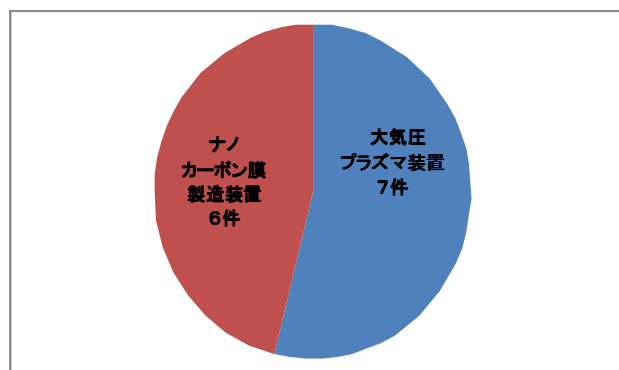


図 2：機器利用内訳

今後も皆様のご利用をお待ちしております。

3. 今後の予定

第2回プラズマ技術産業応用センター (PLACIA) & プラズマが拓くものづくり研究会 (PLAM)

国際シンポジウム開催

日時：平成21年11月中旬予定

場所：サイエンス交流プラザ大会議室（名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2271-129）

定員：200名（入場無料）

内容：海外招待講演、国内招待講演、ポスターセッション、企業による産業応用事例の発表等

※詳細が決まり次第、月刊 PLACIA でもお知らせいたします。

4. 事務局より

＊新任のご挨拶＊

ごあいさつ

プラズマ技術産業応用センター産業応用部長 青木猛

皆様には平素より当センターの活動に格別のご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、プラズマ技術産業応用センターは本年4月1日に改組して新たに産業応用部が組織され、同日付で私は名古屋市工業研究所から異動になり産業応用部長に着任致しました。

当センターは、平成19年度に準備室を開設以来、各方面から多大なるご協力、ご支援を頂戴しながら成長して参りました。今後も久米センター長のもとに職員一丸となり PLAM 会員企業皆様はじめ地域企業の技術力向上と産業振興に少しでもお役に立てるよう努力して参りますので、より一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

＊お知らせ＊

X線光電子分光分析装置が導入されました

X線光電子分光分析装置は、試料表面の元素組成と結合状態を知ることができる装置です。今回プラシアに導入した装置は、10μmのX線を走査することにより二次元方向での元素組成と結合状態を知ることができます。また、Arイオンでスパッタリングすることで深さ方向の元素組成と結合状態も測定することができます。この装置によりプラズマによる影響を元素レベルで測定することができます。

PLAM 入会案内

プラズマが拓くものづくり研究会 (PLAM) では会員を随時募集しております。プラズマに興味のある方ならどなたでもご入会いただけます。会費は無料です。入会を希望される方は氏名・会社名・連絡先をご記入の上、FAXまたはE-Mailでお申し込み下さい。詳細情報についてはHPでも公開しております。

※PLAM…プラズマ技術の産業応用に関心のある企業の方々を会員とする研究会

〈PLAM 入会申込連絡先〉

FAX:052-739-0682/E-Mail: plasma@u-net.city.nagoya.jp

〈プラズマ技術産業応用センター (PLACIA) HP〉

<http://www.u-net.city.nagoya.jp/placia/index.html>

平成21年7月2日発行 編集・発行：プラズマ技術産業応用センター (PLACIA)

〒463-0003 名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞 2268-1

お問い合わせ：tel.052-739-0680 fax.052-739-0682 e-mail:placia@u-net.city.nagoya.jp